

トキヨ

第29回 日教組栄養教職員部研究集会



全体会の様子



分科会の様子

7月29日（土）・30日（日）の両日、日本教育会館（東京）において、第29回日教組栄養教職員部研究集会が盛大に開催され、本県からは6名の栄養教諭が参加しました。

来賓に、日政連議員のなたにや正義氏が駆けつけ、懸案の兼務の解消や多忙化解消に尽力したいと熱く語られました。

1日目の基調提案では、日教組栄養教職員部長の福山隆志氏が、栄養教職員をとりまく状況について触れ、「食教育の推進」「学校給食の改善」「労働条件の改善」の3つを運動の柱に掲げ、実践につなげていくよう訴えられました。

その後、次の3分科会に分かれ、リポーターからの発表の後、先生方は熱心に協議し、お互いに情報交換しました。

- ・第1分科会 食教育の充実
- ・第2分科会 学校給食の改善
- ・第3分科会 職務内容の確立、労働条件の改善

2日目は、食の安全・監視市民委員会の代表を務める弁護

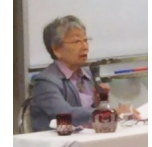
士の神山 美智子 氏が「現代社会における子どもと食の課題とその解決について」と題しての講演です。最近、増加傾向の発達障害と農薬の因果関係、コンビニ食品での塩分・糖分の取り過ぎ、さらには食品表示には見えない添加物の危険性について話をされ、消費者がそれらを回避する具体策を丁寧に解説してくださいました。食の安全に深い関心のある先生方だけに、熱心に耳を傾け、意外な事実を知る度に会場にざわめきが広がりました。



なたにや議員



福山 隆志 氏



神山 美智子 氏